

情報メディアセンターが取り組む情報セキュリティ対策について

．基本方針

情報メディアセンター（以下、センター）は、本学情報通信システムの利用において、以下の方針に基づきセキュリティ対策を実施します。システムの有効活用に当たり、情報資産の安全性および信頼性確保に努め、教育、学術研究および事務処理の高度化と振興に寄与して参ります。

- 1．高度情報化社会における情報セキュリティの重要性を深く認識し、その対策に取り組み、安心、安全、便利な情報通信システム環境の構築に努めます。
- 2．大学が保有する情報の保護は極めて重大な社会的責任であることを十分に認識し、個人情報保護法等関連する法令を遵守します。
- 3．情報セキュリティの管理体制を整備し、物理的、技術的、人的側面から情報セキュリティに対する取組みを実施します。
- 4．物理的セキュリティ対策
情報の保管場所への不正侵入を防ぐための対策を講じます。
- 5．技術的セキュリティ対策
ファイアウォールや暗号化通信等ハードウェアやソフトウェア技術を用いたセキュリティ対策を講じます。
- 6．人的セキュリティ対策
人的要因に依存した情報の紛失や改ざん、漏えい防止に向け、関係者の情報倫理教育や事故発生時の連絡体制、復旧手続き、教育訓練等の活動に取り組めます。

この他センターでは、セキュリティの確保に向けた組織的な取り組みとして、「摂南大学情報メディアセンター規定」等関連諸規定を整備しています。また、運営委員会を設置し、センターの管理および運用等に関する重要な事項を審議しています。

．セキュリティ対策

1．コンピュータウィルス対策

本学では、インターネットの教育への利用が本格化した 1997 年度から教育用コンピュータのウィルス対策に取り組んでいます。各学部・学科にネットワーク管理者を配置し、センターと連携し、ウィルス感染発覚時の対応や被害状況の把握等にあたっています。

2．迷惑メール対策

迷惑メールはその受信者だけでなく、ネットワーク負荷などシステム全体にも影響を

与えています。センターでは迷惑メール対策を実施しています。受信者が迷惑メールを受け取る前に検知して、駆除に努めています。

3．ファイル交換ソフトウェアの利用制限

著作権侵害となるファイルの送受信や情報漏洩などが大きな社会問題となっています。センターでは、インターネットと本学の間でのファイル交換ソフトウェアを用いたデータの送受信を制限しています。

4．その他

事務処理用コンピュータのセキュリティ対策については、 . 1 から . 3 に加え、

- ・事務処理専用ファイルサーバー設置
- ・ソフトウェアの無断インストールの禁止
- ・事務処理用に個人が所有するパソコンの持ち込みを禁止

等の施策を講じています。

セキュリティ対策について今後も必要に応じ、柔軟かつ迅速に対応します。

2009年5月 摂南大学情報メディアセンター